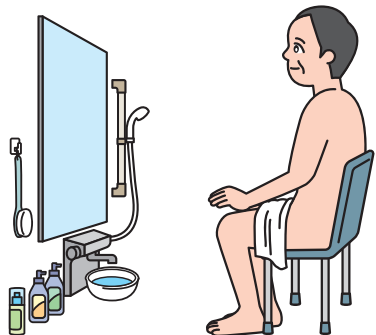


12 入浴



プラス 大事な視点

どの動作が できていますか？

入浴は手順が多く、ミスが生じやすいため面倒に感じる人も多いです。洗髪はできる、シャワーで泡を流せるなど、本人ができる動作がわかれば、支援のポイントが見えてきます。

環境を整えてシンプルに

浴室は、使用する物品が多く混乱しやすいため、環境を整備して、戸惑わないようにしましょう。
例えば、複数の家族が別々のモノを使用する場合、本人が入浴するときは本人が使用するシャンプー等のみ置いておくとい良いでしょう。

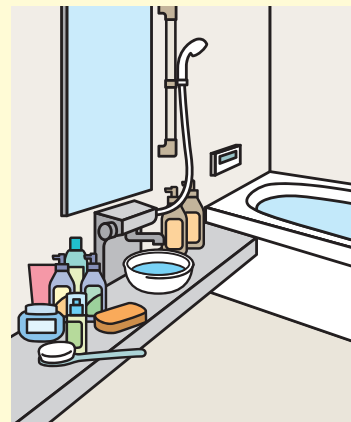


困ること

何を使うか迷う

シャンプー、リンス、ボディソープが区別しにくい

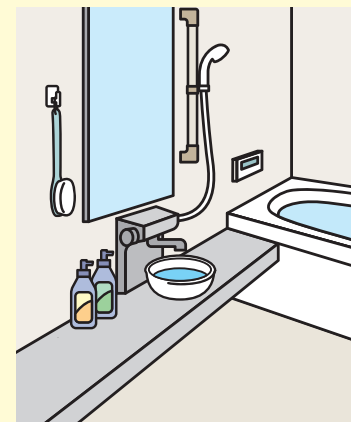
● 注意、視覚認知、視力



こんな工夫ができます！

シンプルに見やすく

- ・本人が使わない物や掃除道具は別の場所に移す
- ・ボトルに文字で「シャンプー」と示す
- ・オールインワンソープを使う

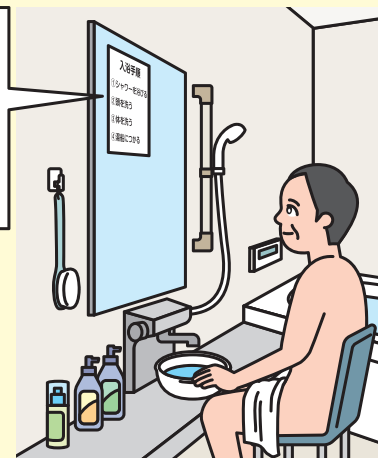


体や髪を洗う 順番で戸惑う

● 注意・記憶・動作の順序

入浴手順

- ①シャワーを浴びる
- ②頭を洗う
- ③体を洗う
- ④湯船につかる



手順を示す

- ・手順を浴室に掲示する
- ・手伝う場合は、本人がしている手順を把握し、その順番で声かけをする
- ・洗髪→洗体の順番に合わせてボトルに番号をつける

脱いだ服と 新しい服で迷う

● 記憶



着る服を置いておく

- ・脱ぐ服と新しい服の置く場所を分ける
- ・混乱する場合は、本人が入浴している間に新しい服を置いておく

● 関係する主な機能や要因